

# 阿賀野市定員適正化計画

阿 賀 野 市

平成17年4月

# 阿賀野市定員適正化計画

## (趣旨)

平成16年4月1日旧安田町、旧京ヶ瀬村、旧水原町及び旧笹神村が合併し、阿賀野市が誕生した。これに伴い、行政改革大綱の策定が急がれており、この中で『定員管理の適正化』は最重要項目のひとつとして捉えられている。この計画は、阿賀野市職員の定員の適正化を図るため、合併という特殊事情を考慮し、長期的展望に立ち平成17年度から平成21年度までの基本方針、定員適正化目標、定員適正化計画について策定するものである。

## 1. 基本方針

現在、急速に進行している少子・高齢化社会、地方分権、住民ニーズの多様化、財政状況の停滞、新規事業等の行政課題を含む行政需要に対して、効率的な組織運営及び適正な人事配置により対処することが求められている。

定員管理は、地方自治法の基本理念そのままに、限られた財源、人材の中で目標を達成するため「最小の職員数で、最大の効果をあげるようにすること」により効率的な行政体制づくりが現在の厳しい行財政環境の下で、特に必要とされているところである。

今後の新規採用については、均衡ある職員構成を考慮し、原則専門職を除いて、当面退職者の2～3割の補充を基本方針とする。

## 2. 定員適正化目標

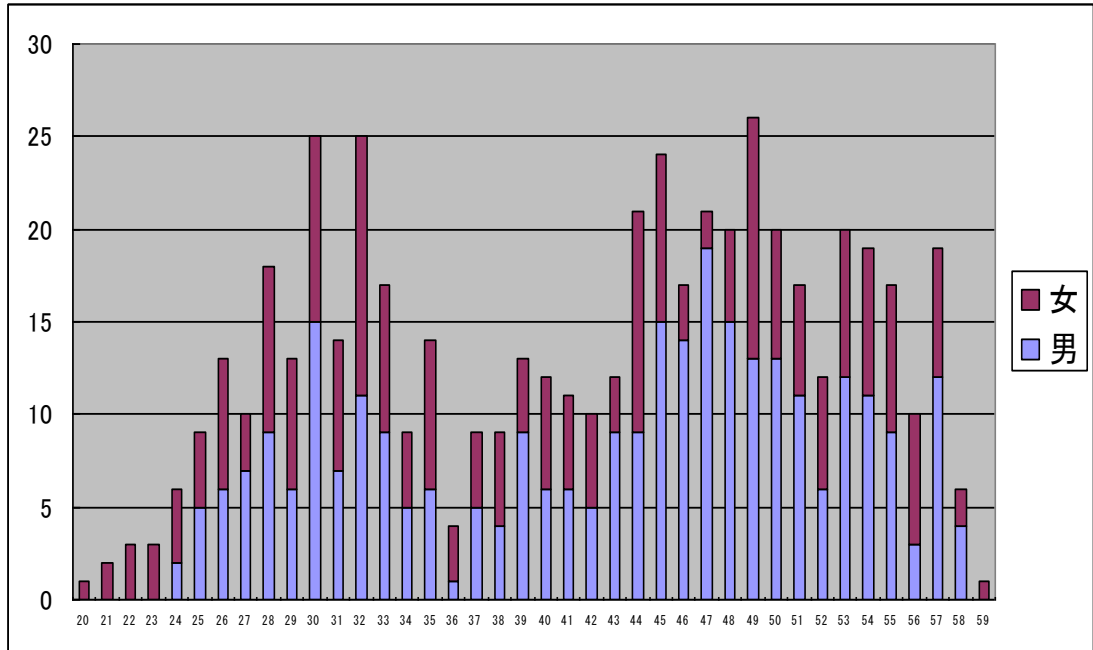
### (1) 定員管理の現状分析

総務省自治行政局から送致される「類似団体別職員数の状況」並びに「第8次定員モデル」数値を参考とし、これとの比較の中で、一般的団体と異なる部門別の阿賀野市の職員配置数を把握し、市特有の諸施策、諸要件を考慮のうえ、現状分析を行う。

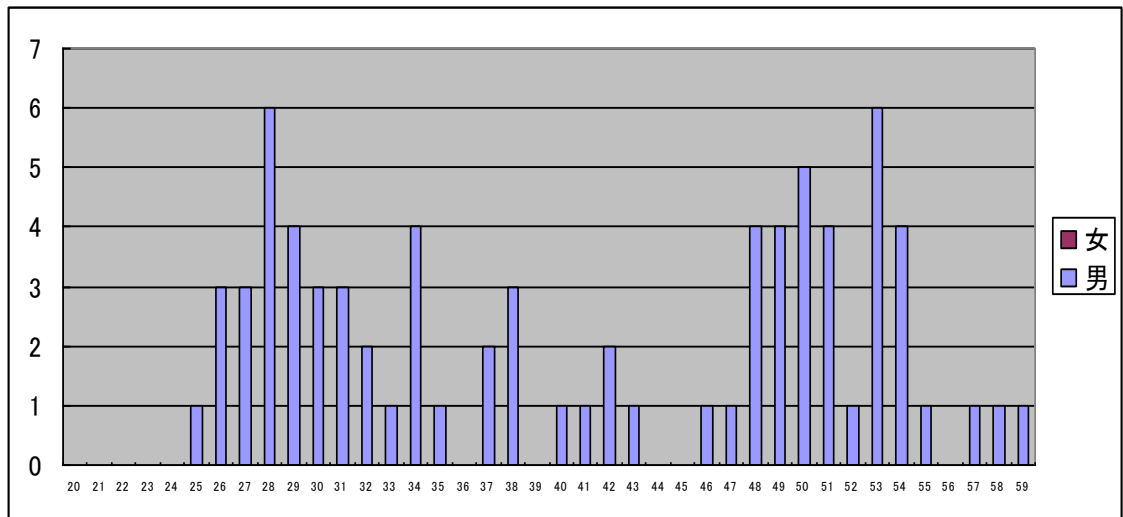
・ 職員年齢構成状況

平成16年4月1日現在の職員の年齢構成を次の図のとおりである。

年齢別職員数（病院職・消防吏員を除く）



年齢別職員数（消防吏員）



上記図で示すように、近年の合併による採用の手控えにより、現在の職員の年齢構成は著しく偏ったものとなっている。

平成16年4月1日現在の類似団体（単純値・修正値）及び第8次定員モデルとの比較においては、以下のとおりである。

・職員数の類似団体（単純値・修正値）との比較

部 門	職員数 A	単純値 B	超過数 A-B	修正値 C	超過数 A-C
議 会	5	6	△1	6	△1
総 務	95	83	12	83	12
税 務	24	25	△1	25	△1
民 生	115	78	37	81	34
衛 生	44	37	7	26	18
農林水産	35	24	11	22	13
商 工	21	10	11	11	10
土 木	34	43	△9	34	0
一般行政計	373	306	67	288	85
一般管理	214	191	23	181	33
教 育	94	86	8	99	△5
消 防	78	23	55	72	6
特別行政計	172	109	63	171	1
普通会計計	545	415	130	459	86

・職員数の定員モデルとの比較

部 門	定員モデル 対象職員数	定員モデル 試算値	比較増減
議 会	5	337	36
総 務	95		
税 務	24		
民 生	115		
衛 生	44		
農林水産	35		
商 工	21		
土 木	34		
一般行政計	373		

合併により職員数は類似団体単純値に対し129人、類似団体修正値に対し86人多く、第8次定員モデル（一般行政のみ）に対しても36人多い結果となっている。当面は、退職者の補充を極力抑え、職員数の削減に努めるものの、将来的な観点から均衡ある職員構成を視野に入れ、定員モデル数値に近づけるべくこれを目標とする。

### 3. 定員適正化

計画的な定員管理の適正化を確実に遂行するため、定員適正化計画をその基本に据えるものとする。このため、数値目標を掲げ、これを着実に実行するものとする。また、状況の変化に応じ速やかに見直しを行い、行財政環境の変化に即した定員管理に努めるものとする。

#### (1) 退職者の見込及び採用計画

平成16年度以降の退職者・採用者の見込みは以下のとおりである。

##### ・退職者数の見込み（年度末時）

項目 年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
一般職 (内技能労務職)	8	6 (2)	17 (4)	10 (4)	16 (2)	19 (7)	20 (2)	15 (2)	14 (3)	15 (4)
消防吏員	2	1	1		1	4	6	1	4	5
計	10	7	18	10	17	23	26	16	18	20

##### ・採用計画（年度始時）

項目 年度	16	17	18	19	20	21
一般職		2	2	3	3	7
消防吏員		4	2	2	2	2
計		6	4	5	5	9

※病院職員は除く

平成16年度以降10年間の定年退職者（病院職員を除く）の見込は、166人となっている。

これら、退職者の補充採用に関しては、これから市が取り組まなければならない長期的構想を基に、退職者の職種並びに職員の年齢構成を考慮した採用が必要であると考えられる。

これまでの現状分析及び均衡ある職員年齢構成を確保するため、採用計画を組み込んだ定員適正化計画を以下のとおり策定する。

・一般職(病院職員を除く。)

項目 年度	16	17	18	19	20	21
実職員数	533	527	523	509	502	493
退職者	8	6	17	10	16	19
採用者		2	2	3	3	7
対前年		△6	△4	△14	△7	△9

(実職員数は、各年度4月1日現在の予測数値である。)

・消防吏員

項目 年度	16	17	18	19	20	21
実職員数	75	77	78	79	81	82
退職者	2	1	1		1	4
採用者		4	2	2	2	2
対前年		2	1	1	2	1

(実職員数は、各年度4月1日現在の予測数値である。)